

テイラー フルード粘性ダンパー ニュースレター

明友エアマチック社からテイラー・デバイス社製免震制振製品の最新情報をお届けいたします

巨大ダンパーを疎通大橋へ

テイラー・デバイス社によって製作された巨大なフルード粘性ダンパーは、トナワンダ島(ニューヨーク州バッファロー)にある同社の施設内で世界を半周する旅立ちにむけて静かにその時を待っている。

テイラー・デバイス社のCEOダグラス・テイラー氏は、我が社が製作したこの8基の巨大なダンパーは、中国上海の長江河口に2007年末もしくは2008年初頭に完成し、世界最長となる斜張橋、「疎通大橋(スートン橋)」の一部となり、巨大なダンパーとして、地震・嵐からスートン橋を守る役目を担っている。そして、これほど大きなダンパーは我が社でも初めて製作したと語った。

テイラー氏は語る、「我々が知る限り、現時点で最大級のダンパーだ。」

これらのダンパーは単体でも約10tあり、220万ボンド(約9800kN)以上の力を出力できる。また、組立てに一週間で費やした。これらのダンパーは、スートン橋の橋桁と主塔の間に設置される。

これらのダンパーは、2007年3月末にテイラー・デバイス社から出荷され、トラックで西海岸に向かい、そこで中国に向かう船に積み込まれ、出荷から中国まで約7週間で費やされる。

テイラー氏は、我が社は250以上の建物・橋梁のためにダンパーを製作した、その中にはメジャーリーグ シアトル・マリナーズの本拠地セイフィコ・フィールドも含む、しかしこれほど巨大なものはないと語った。

テイラー・デバイス社の検査監督であるエリック・ロス氏は、これらダンパーの製作、製品検査を携ったことで、ダンパーが中国で十分な性能を発揮できると確信している。

ロス氏は語る、「我々の行なっていることが、地球の裏側で安全をもたらし、地震をより安全に対応できるようになるのはすばらしい。」

テイラー氏は、中国で15以上のプロジェクトを納めた実績により、テイラー・デバイス社の名前は中国でも広く知れている。そして、これはノース・トナワンダの小さな男達でも大きな事は出来ることの証明だと語った。



制振対策として:テイラー・デバイス社
中国のスートン橋用に特別デザインされたフルード粘性ダンパーを紹介



独特な機構による
信頼性の高い製品

明友エアマチック株式会社

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-12-2

Tel : (045) 473-1881

Fax : (045) 473-1885

Web : <http://www.meiyu-co.jp>

E-mail : info@meiyu-co.jp